

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」(平成22年度採択)

革新的研究調査(FS)評価結果

| 番号 | FS研究名 | 研究代表者 | 評価 |
|---|----------------------------|--------------------|----|
| 22-3 | 非破壊検査のための非接触音響探査法についての研究開発 | 桐蔭横浜大学 教授 杉本 恒美 | B |
| <p><研究の概要></p> <p>強い音響振動を発生する長距離音響発生装置と高感度のスキャニング振動計を組み合わせた非接触音響探査法により、トンネル覆工や橋梁、その他構造物のコンクリート劣化部の非接触・非破壊検査システムを開発する。</p> <p><FS評価結果></p> <p>FSの開発目標は達成しているものの、研究計画としては、実際の欠陥を対象とした検出能力の確認を第一とすべきことから、本評価における指摘事項への対応を前提に、新規研究として採択するものとする。</p> <p><今後の研究計画・方法への指摘事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンクリート構造物の劣化の専門家との連携の下、実際のコンクリート構造物の欠陥がどのようなものかを調査し、どのような構造物のどのような欠陥を対象にするのかを明確にした上で、例えば、剥離につながる浮きやひび割れ等を対象として、研究を実施いただきたい。 2. 実務への反映には、探査の適用条件や信頼性等を明確にすることが不可欠であることから、「欠陥検知アルゴリズムの改善検討及び実地調査実験」及び「高精度化に関する検討」に重点化して研究を実施いただきたい。 | | | |